

23

9

弥生時代

弥生時代

前206

前221

紀元時代

前771

前1046

日本



武帝前七〇
昭帝前七四
宣帝前四九
成帝前七
哀帝前一
平帝五
孺子嬰三
王莽二三

景帝前四八



文帝前至六

呂后前六

惠帝前六

劉邦前五

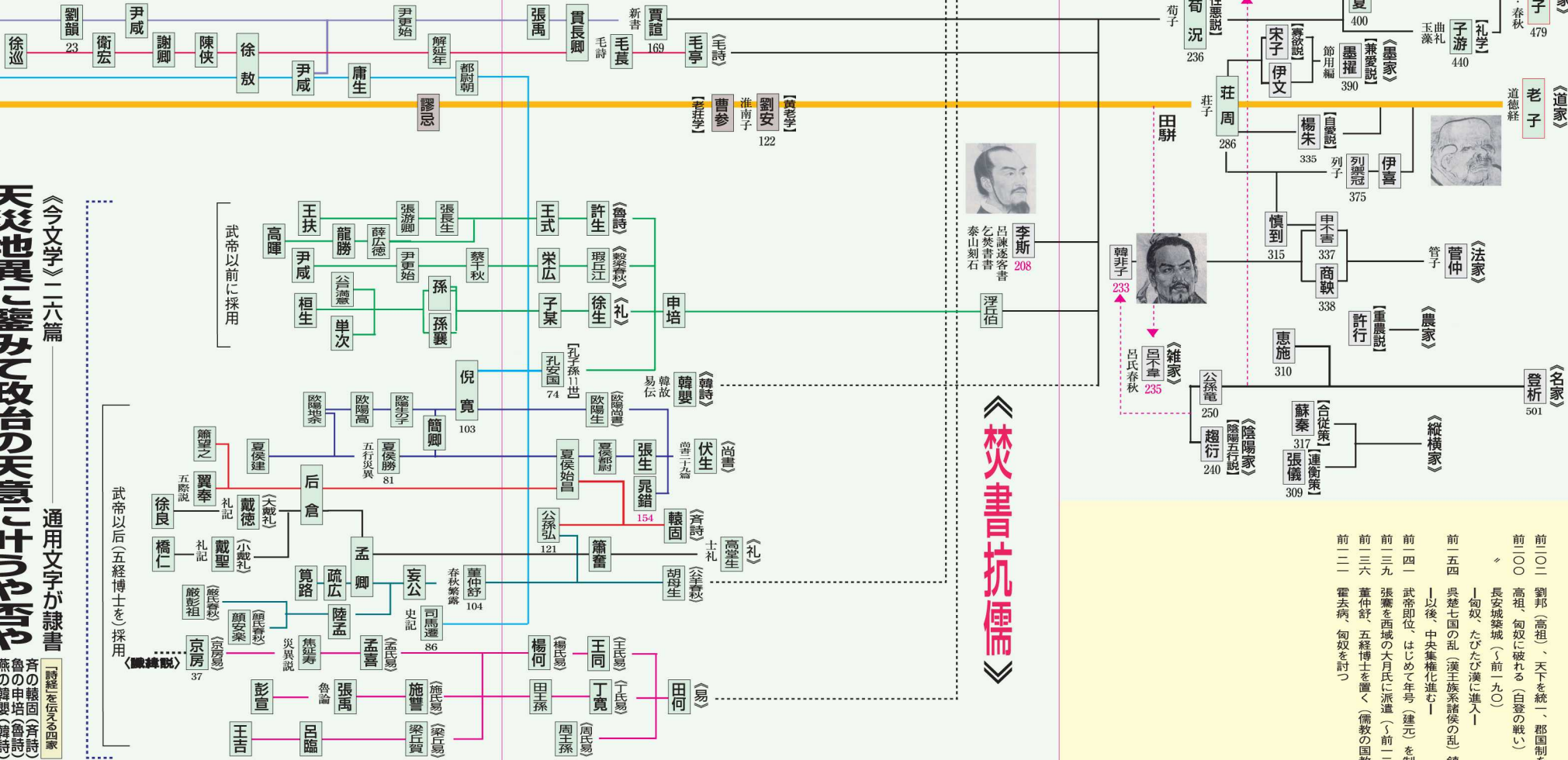
子嬰前二

胡亥前二

始皇前二

周文王

帝王



《今文学》二六篇
天災地異に鑒みて政治の天意に叶うや否や
通用文字が隷書
武帝以前に採用
武帝以後(五經博士)を採用

焚書抗儒

- 前二〇二 劉邦(高祖)、天下を統一、郡国制をしく
- 前二〇〇 高祖、匈奴に破れる(白登の戦い)
- 長安城築城(前一九〇)
- 匈奴奴、たびたび漢に進入
- 前一五四 呉楚七国の乱(漢王族系諸侯の乱)鎮圧
- 以後、中央集権化進む
- 前四一 武帝即位、はじめて年号(建元)を制定
- 前三九 張騫を西域の大月氏に派遣(前二六)
- 前三六 董仲舒、五經博士を置く(儒教の国教化)
- 前二二 霍去病、匈奴を討つ

経学・老莊・仏教
年表



陳後主 五〇九 86
 武帝 五〇九 86
 高帝 四〇六 59



第1期 (1~3世紀)	第2期 (4世紀)	第3期 (5世紀)
般若經・維摩經 法華經・華嚴經 阿彌陀經	如來藏經・勝鬘經 大乘涅槃經 解深密經	入楞伽經・大乘密嚴經 中觀派 天台宗 山外派
淨土經典 無量壽經 阿彌陀經	淨土經典 無量壽經 阿彌陀經	淨土經典 無量壽經 阿彌陀經



元帝 三三六 46
 武帝 二五五 53
 孫權 二五二 71
 武帝 二五五 53



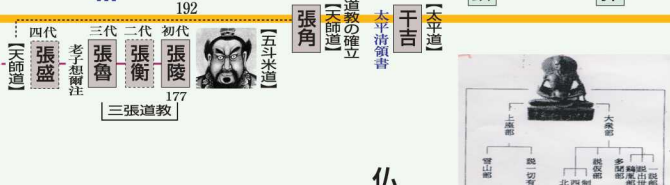
〔古訳〕
 安世高 安般守意經 入木欲生經 陰持入經
 支婁迦讖 道行般若經 會稽般若經 般舟三昧經
 〔古訳〕
 安世高 安般守意經 入木欲生經 陰持入經
 支婁迦讖 道行般若經 會稽般若經 般舟三昧經

●東漢から六朝に至る代表的な高僧(五九八分類)

- 義解 經典の研究……………三五名
- 神異 超人的な奇跡を示す……………一〇名
- 習得 瞑想の実践……………二名
- 明律 戒律に通ずる……………十一名
- 亡身 命を捧げる……………十一名
- 論經 經典の暗誦……………二名
- 興福 社会福祉に尽くす……………十四名
- 唱導 (説教と伝道)……………十名



漢帝 八八 31
 少帝 〇六 27
 安帝 三三二 32
 順帝 四四三 30
 冲帝 四四三 30
 質帝 四四三 30
 桓帝 一六七 36
 靈帝 一八九 34



仏滅直後に第一次結集が行われたが、さらに仏滅百年のころに戒律についての紛争が起こり、これが為に第二次結集が行われた。この際、保守的な態度をとった上座の長老たち(上座部)と、これに承服しかねた進歩派の人たち(大眾部)とに分裂した。

前二一 秦 中國統一
 前二九 始皇帝 泰山で封禪を行う
 前二三 鄧綰の暗殺時代(522)
 前二〇 劉邦(高祖)、天下を統一、郡國制をしく
 一〇 匈奴、たたび漢に進入
 前五四 呉楚七国の乱(漢王族系諸侯の乱) 鎮圧
 以後、中央集権化進む
 前四一 武帝即位、はじめて年号(建元)を制定
 前三六 董仲舒、五經博士を置く(儒敎の国教化)
 前〇八 武帝、朝鮮を平定、楽浪など四郡を置く
 前二 司馬遷、「史記」を著す
 前二 この仏敎をはじめとする諸敎の伝説
 五 王莽、平帝を殺害し、假皇帝を称す
 一八 赤眉の賊起る
 二五 劉秀、漢を再興(光武帝に即位)
 三七 光武帝、中國を平定統一
 六七 洛陽に白馬寺建立
 九 班超、西域五十余國を服属す
 一四七 安世高、洛陽に来る
 一七七 支婁迦讖、洛陽に来る
 一八四 黄巾の乱
 二二〇 後漢滅亡
 二六五 竺法護、長安に来る
 一 老荘思想を借りた蘭公譯佛敎興る
 二八〇 晋 中國統一
 三二〇 仏國造、洛陽に来て布敎
 中國人の出家公認される(門下万人)寺院八三

